



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 神奈川中央交通株式会社
コード番号 9081 URL <https://www.kanachu.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 今井 雅之
問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部IR担当課長 (氏名) 村山 大輔
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0463- 22- 8894

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	87,213	13.4	6,191	48.9	6,469	43.0	3,934	33.3
2023年3月期第3四半期	76,876	4.9	4,157	173.8	4,525	55.1	2,951	51.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,630百万円 (181.6%) 2023年3月期第3四半期 2,354百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	320.65	
2023年3月期第3四半期	240.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	156,040	59,016	34.6
2023年3月期	150,568	52,879	32.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 54,049百万円 2023年3月期 48,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		20.00	40.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,500	5.4	4,790	10.8	4,770	2.9	3,040	164.5	247.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	12,600,000 株	2023年3月期	12,600,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	328,498 株	2023年3月期	328,383 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	12,271,560 株	2023年3月期3Q	12,271,692 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で個人消費が緩やかに増加し、持ち直しの動きが見られました。一方、資源価格高騰に伴う物価上昇や円安の進行など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図るとともに、経営の効率化に努めた結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、87,213百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は6,191百万円（前年同期比48.9%増）、経常利益は6,469百万円（前年同期比43.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,934百万円（前年同期比33.3%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「一般旅客自動車運送事業」を「旅客自動車事業」に名称変更しております。また、当該セグメントに含まれる「乗合事業」「貸切事業」および「乗用事業」を「乗合バス事業」「貸切バス事業」および「タクシー事業」にそれぞれ変更しております。この変更がセグメント情報に与える影響はありません。

(旅客自動車事業)

乗合バス事業においては、商業施設「ジ アウトレット湘南平塚」の開業に伴い、4月に平塚駅北口および本厚木駅南口～ツインシティ大神間を結ぶ新系統の運行を開始し新たな需要に対応いたしました。また、子育て世代応援の取り組みとして小児IC運賃の一律50円を開始したことや、7月に当社全路線（当社横浜市均一運賃区間等を除く）にて運賃改定を実施するとともに、通学定期券の割引率引き上げを行うなど、利用促進を図ったことにより増収となりました。

タクシー事業においては、神奈中タクシー(株)にて新型コロナウイルス感染症が感染症法上「5類」へ引き下げられたことで、夜間を中心に旅客需要の回復が見られたことや、11月に運賃改定を実施したことにより増収となりました。

貸切バス事業においては、神奈中観光(株)にて旅行需要の回復に伴い旅行エージェントからの受注が増加したことに加え、前期に獲得した契約輸送が通期寄与したことなどにより稼働率が向上し増収となりました。

以上の結果、旅客自動車事業全体の売上高は41,462百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は2,595百万円（前年同期比136.3%増）となりました。

(不動産事業)

賃貸事業においては、前期に賃貸を開始した「神中本藤沢物流センター」や「アドベル明石町ビル」が通期寄与したことなどにより増収となりました。

分譲事業においては、デベロッパーとのマンション分譲共同事業による藤沢市羽鳥の「プレミスト湘南辻堂」が前期に完売し、販売戸数が減少したことにより減収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は4,482百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は2,086百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

(自動車販売事業)

商用车販売事業においては、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)にてトラック・バスの販売台数が増加したことに加え、既存のお客さまに対する車検や点検等メンテナンスの営業活動に努め、車両整備が増加したことにより増収となりました。

輸入車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ(株)にて高価格帯の新車販売台数が増加するとともに、中古車の販売も好調に推移したことにより増収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は26,664百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益は948百万円（前年同期比48.5%増）となりました。

(その他の事業)

情報サービス事業においては、(株)神奈中情報システムにてドライブレコーダなどバス車載器の販売が増加したことなどにより増収となりました。

商用车架装事業においては、横浜車輛工業(株)にて半導体不足の解消に伴いメーカーの生産台数が回復し、受注が増加したことなどにより増収となりました。

ビル管理事業においては、横浜ビルシステム(株)にて金融機関における設備更新工事を新規受注したことなどにより増収となりました。

レジャー・スポーツ事業においては、(株)神奈中スポーツデザインにて4月に学童施設「ASHITA∞キッズ神奈中本厚木」を開業し会員獲得に努めましたが、不採算店舗を閉店したことなどにより減収となりました。

飲食・娯楽事業においては、前期に営業譲受した「ドトールコーヒーショップ」の8店舗が通期寄与したことなどにより増収となりました。

ホテル事業においては、室料を改定したことにより宿泊部門は増収となりましたが、料飲部門において前期末にピザ店2店舗を閉店したことによりホテル事業全体では減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は21,699百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は714百万円（前年同期比58.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（財政状態の変動状況）

総資産は、有形固定資産が減価償却により減少しましたが、商品及び製品が増加したことや、投資有価証券の時価評価額が増加したことなどにより、前期末に比べて5,471百万円増加し、156,040百万円となりました。

負債は、旅客自動車事業において前受収益が増加したものの、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて665百万円減少し、97,023百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末に比べて6,136百万円増加し、59,016百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、今後の業績動向等を踏まえ現在精査中であるため、期初の業績予想を据え置いております。修正が必要と判断された場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,829	3,391
受取手形、売掛金及び契約資産	9,499	10,012
商品及び製品	9,165	12,631
仕掛品	74	52
原材料及び貯蔵品	527	602
その他	3,139	2,518
貸倒引当金	△29	△38
流動資産合計	25,205	29,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	93,558	93,474
車両運搬具	39,841	40,117
土地	62,818	62,828
その他	22,051	20,749
減価償却累計額	△111,111	△111,605
有形固定資産合計	107,158	105,564
無形固定資産	932	947
投資その他の資産		
投資有価証券	14,649	17,915
その他	2,637	2,454
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	17,271	20,356
固定資産合計	125,363	126,868
資産合計	150,568	156,040
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,474	8,377
短期借入金	18,079	17,771
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	856	614
賞与引当金	2,230	877
その他	14,811	16,686
流動負債合計	43,452	49,327
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	16,471	14,607
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	3,797	3,693
その他	13,965	14,392
固定負債合計	54,236	47,696
負債合計	97,689	97,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	723	723
利益剰余金	41,429	44,873
自己株式	△938	△938
株主資本合計	44,375	47,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,768	6,148
退職給付に係る調整累計額	91	81
その他の包括利益累計額合計	3,860	6,230
非支配株主持分	4,643	4,966
純資産合計	52,879	59,016
負債純資産合計	150,568	156,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高		
旅客自動車事業営業収益	37,249	41,312
不動産事業売上高	4,320	4,478
その他の事業売上高	35,306	41,422
売上高合計	76,876	87,213
売上原価		
旅客自動車事業運送費	32,338	34,616
不動産事業売上原価	1,732	1,796
その他の事業売上原価	28,749	34,512
売上原価合計	62,820	70,926
売上総利益	14,055	16,287
販売費及び一般管理費		
販売費	6,553	6,530
一般管理費	3,345	3,565
販売費及び一般管理費合計	9,898	10,095
営業利益	4,157	6,191
営業外収益		
受取配当金	282	393
助成金収入	294	115
その他	91	109
営業外収益合計	669	619
営業外費用		
支払利息	255	241
その他	45	99
営業外費用合計	301	341
経常利益	4,525	6,469
特別利益		
固定資産売却益	3	24
補助金収入	0	36
その他	1	16
特別利益合計	6	77
特別損失		
固定資産除却損	209	442
固定資産圧縮損	1	44
減損損失	42	128
その他	1	51
特別損失合計	254	667
税金等調整前四半期純利益	4,276	5,879
法人税、住民税及び事業税	782	1,217
法人税等調整額	374	436
法人税等合計	1,157	1,653
四半期純利益	3,118	4,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	167	291
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,951	3,934

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,118	4,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△496	2,411
繰延ヘッジ損益	△255	—
退職給付に係る調整額	△12	△8
その他の包括利益合計	△764	2,403
四半期包括利益	2,354	6,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,178	6,305
非支配株主に係る四半期包括利益	176	325

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	37,249	4,320	20,128	15,177	76,876	—	76,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	3	472	5,135	5,766	△5,766	—
計	37,404	4,324	20,601	20,312	82,642	△5,766	76,876
セグメント利益	1,098	2,047	638	449	4,234	△76	4,157

(注)「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食・娯楽事業、ホテル事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	41,312	4,478	25,712	15,709	87,213	—	87,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150	4	951	5,989	7,095	△7,095	—
計	41,462	4,482	26,664	21,699	94,309	△7,095	87,213
セグメント利益	2,595	2,086	948	714	6,344	△153	6,191

(注)「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食・娯楽事業、ホテル事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「一般旅客自動車運送事業」を「旅客自動車事業」に名称変更しております。この変更がセグメント情報に与える影響はありません。

また、これに伴い前第3四半期連結累計期間のセグメント情報も変更後の名称で表示しております。